

「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」

学校教育目標

おおらかで たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子
新座市立東野小学校
令和4年7月1日（金）

TEL:479-7280 FAX:482-6794
HP:<http://www.c-niiza.ed.jp/e-higashino/>



東野小学校 だより 月号

夏休みに向けて・内発的モチベーション

校長 金澤 勇一

6月は異常気象のせいなのか、早々に梅雨が明けてしまい、真夏並みの暑さに見舞われました。全教室でエアコンをかけていますが、換気をするため、冷えるのが間に合わず蒸し暑い教室で、学習環境が悪くなってきています。ぜひ、首など冷やすものを持たせるなど、暑さ対策にご協力ください。また、帽子をかぶらない児童も多くいます。ぜひつばの広い帽子をかぶらせてください。また、日傘も有効ですので、周りに気を付けてさしてきてでもいいと思います。マスクについても、しゃべらないようにして外して登下校するように指導していますが、2年以上マスクの生活だったためか、外さない児童もいます。ご家庭でも外していいことについて、お話しいただけると幸いです。地域のみなさんも、熱中症対策にマスクを外していることをご理解いただき、温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いします。



音楽発表の様子

今年度は、出来ることをできるだけやろうと委員会活動も活発になっています。栽培委員会は、全クラスで花を育てようと計画を立ててきてくれました。昨年度の6年生も考えてくれて、来年はできるといいねと話合っていたそうです。まずは、委員会で育ててみて、全校に広げようと、職員玄関前に5・6年生一クラス1つのプランターで花を育てています。また、体育館のところで、ゴーヤを育てています。この暑さでぐんぐん育ち、小さな実がついて、大きくなるのを楽しみにしているところです。他の取組も今後ご紹介していきたいと思います。

3年前の夏に、キャンプ場で行方不明になった女の子のものと思われる人骨が発見されたニュースがよく報道されています。ご両親のことを思うと、心が痛みます。この夏休みは、新型コロナウイルスのために、我慢してきた旅行やキャンプなどを計画しているご家庭も多いと思います。コロナもいまだに心配ですが、思いがけない事故などには十分にお気をつけてください。

さて、未熟な子ども達をよりよい人間として導いていくために、大人は教育やしつけを行います。親として、大人としての未熟さゆえに、子育ての方法を誤ることも少なくありません。罰は、怖さによって子どもをコントロールするものです。罰は、してはいけないことを教えても、どうすればよいかを教えるものではありません。罰は、即効性がありますが、よく効く薬ほど副作用も強いものです。

「アメとムチ」という言葉がありますが、それでは、アメはどうでしょうか。人間の行動意欲の原動力となるモチベーション（動機）には、外発的モチベーションと内発的モチベーションがあります。前者はがんばることで物質的な報酬や評価を得ようとする意欲で、後者は行動自体に充実感や使命感を感じてがんばろうとする意欲です。人間は、内発的モチベーションで行動している時の方が意欲が高く、大きな成果が得られるという結果が出ているそうです。子どもの意志で勉強や仕事をがんばっているときに、ご褒美を与えるなどの外発的な動機付けを行うと、モチベーションが低下する現象が現れます。これが、アンダーマイニング効果です。教育は、人として不断に精進を続ける大人が、愛情をもって子どもと接し、励ましたり、ほめたり、認めたりしながら、根気強く働きかけてよりよい方向に導いていく営みです。子ども達は、そうした大人の姿に感銘を受け、自分もそんな大人に近づこうと努力していくものであると思います。子どもの成長には、時間も必要です。健やかな発達を願って、日々繰り返し働きかけることが大変尊い営みであると考えます。



栽培委員会が育てているゴーヤ